

聞思

発行

浄土真宗本願寺派

田野山 西敬寺

題字

西敬寺書道教室講師

小山 泰潤 師

西敬寺本堂建設への

ご理解ご支援有難うございます

本年四月より、本堂建設事業推進にあたっての住職の各ご家庭訪問では、貴重なお時間を割いて頂いたうえに、温かいおもてなしを頂きまして、誠に有難うございました。ご随伴頂きましたお世話人の皆様にも深く御礼申し上げます。

また、訪問に先駆けて西敬寺にお運び頂き早速にご懇志奉納のお申込みを頂きました皆様方にも深く深く御礼申し上げます。

寺報二号でのご案内に配慮不足があり、お世話人不在の地域の方々より、ご挨拶廻りに関しまして、ご心配をお掛けしてありまして誠に申し訳ございません。

本堂に有難いことに「ご住職のお身体が心配だ、無理をなされないように・・・」とのお声がけを頂戴し、もったいないことと感謝申し上げます。次第です。

お陰様にて、ご家庭訪問は二三十件となりました。

八月に入り、連日のように直接お越しになつてお申込み頂く方が多くなり、皆様より住職が直接訪問することに関して、戸惑われていらっしゃったことをお聴かせ頂きました。

住職ではなく建設委員会の方がお越しになると思われていた方も多く、重ねてご連絡不足をお詫び申し上げます。

す来年十一月までに、是非ともご訪問をさせて頂き、直接拝趨の上で、伏してご協力を仰がせて頂きたく、まだ、ご訪問が叶っておりません皆様には、たいへん厚かましく存じますが宜しくお願い致します。

尚、現在までに訪問に關しまして、ご質問頂きましたことを左記にまとめましたので、ご参考にして頂ければ幸いです。

ご質問 Q & A

Q 「訪問日時は？」

A ご都合お伺いの返信ハガキを同封致しましたので、お手数ですがご返信下さい。

Q 「お時間はどれ位かかりますか？」

A 平均四十分程頂戴しております。

①住職よりお願いとご説明 ↓ ②ご質問ご意見拝受 ↓ ③お申込用紙ご記帳 ↓ ④お仏壇にてお勤めの流れになります。

Q 「訪問の際にご奉納したいのですが？」 奉納袋は？」

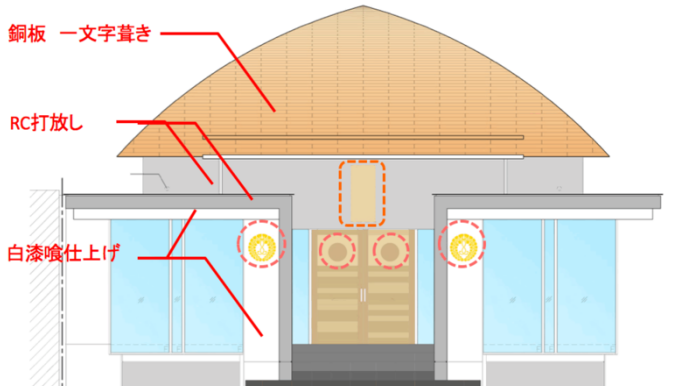
A 持参致します。ご分割の場合もご利用下さい。一括にてご完納頂けます場合は受領証を発行致します。

実施設計完成 施工業者選定へ

先号でご報告致しました基本設計を経て、実施設計が完成致しました。

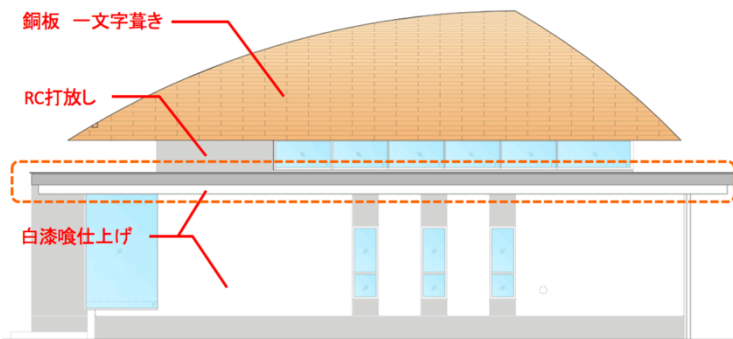
これにより、施工業者選定段階へと入り、六月二十三日の第十二回建設委員会において、選定方法が慎重に審議されました。

正面(南側)からの全体



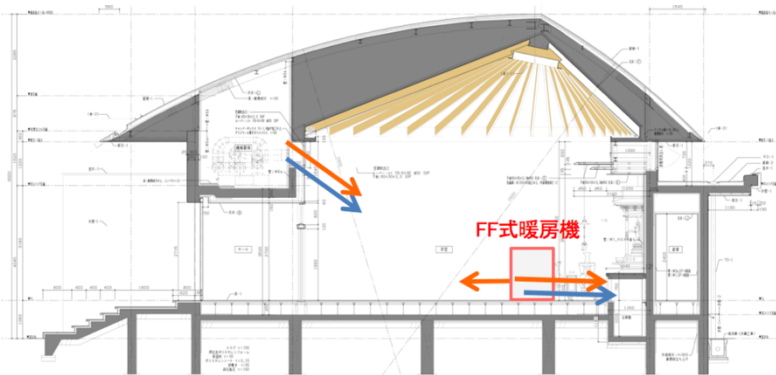
西敬寺紋章・下がり藤紋章・山号額によって「お寺らしさ」を表現

側面(東側)からの全体



通りからは、軒の水平ラインを強調したデザインとしています。

断面図



空調は、熱源を電気とし、使用時間により個別運転が可能でランニングコストを低減できる空冷式パッケージエアコンとしています

その結果、指名競争(特定の者を指名して競争させ、最も有利な条件を提示した者を契約対象とする方式)とし、指名選定基準として「長野市建築工事A級業者」と施工実績(本案件は寺社建築であるため、一般的な建物と違い経験や知識が必要で、寺社・仏閣の実績が豊富な次の三社に指名通知を送りました。)

- 株式会社守谷商会
- 北野建設株式会社
- 野村建設株式会社

(あいうえお順表記)

八月四日、設計・施工管理を行う株式会社エーシーエ設計担当者同席のもと入札心得・現場説明会が開催されました。これに基づき八月二十五日入札が行われます。

入札後の予定と致しましては、十月中旬の解体工事には先駆け九月十日(日)に報恩講法要と御遷座(ご本尊「阿弥陀如来」様を仮本堂となる庫裡御内仏にお遷しする)法要をお勤めさせて頂きます。次頁に法要のご案内を掲載しております。ご確認頂き是非ご出席下さいませ。



報恩講並びに 御本尊（阿弥陀如来）御遷座奉告法要

「報恩講（ほうおんこう）」とは、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人のご法事（今年は756回忌）になります。すなわち聖人のご遺徳を讃え、真実の教え「浄土真宗」をそのご生涯をかけてお伝え下さったご恩に今、生かされている私たちが報いる集い（講）という意义があります。

例年、西敬寺では毎年11月13日お勤めしておりますが、本年10月より本堂解体工事が始まることから御本尊（阿弥陀如来）の「御遷座（ごせんざ）」（ご本堂より仮本堂となりますお庫裡の御内仏へお遷しする）奉告法要をお勤めさせていただきます。

現本堂においての最期の法要となります。ご先祖様への尊崇、子々孫々へのお念仏ご相続への表明とご理解頂き御恩報謝のお気持ちをお運び下さいませ。

開催日時：平成29（2017）年9月10日（日）

- 9：30 世話人会（世話人の皆様ご参集お願い致します。）
- 10：30 参詣者受付開始
- 11：00 勤行
- 11：30 記念法話 長野教区 河西組 西光寺ご住職 山崎 慶昭 師
- 12：30 お齋



厳かなご法要と和気藹々としたお齋の一場面

お持ち物・服装

- ・お数珠
- ・平服（お持ちの方は門徒式章をご着用下さい。）
- ・講費（参加費）
 - *大変恐縮ですが、お齋に着かれる方は、3,000円以上、ご法要のみ方は2,000円以上を目安として「御布施」として受付にお預け下さい。ご尊前へご奉呈させていただきます。

お問い合わせ

お申し込み方法

お手数ですが同封の返信はがきにてご出欠をご連絡下さいませ。ご不明なことはお電話にて承りますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

「西敬寺さんの本堂で葬儀を行いたい」との願いを承けて

ご懇志のお願いに参上する中で、多くの方々に「西敬寺さんの本堂で葬儀を行いたい」とのご希望頂きました。

結論から申しますと積極的に本堂を会場としての葬儀を承けてまいります。

左下の新本堂平面図をご覧頂きますと、ゆったりと70名の方が椅子席にて着席可能であり、空調設備を充実させることから真夏でも真冬でもご安心です。

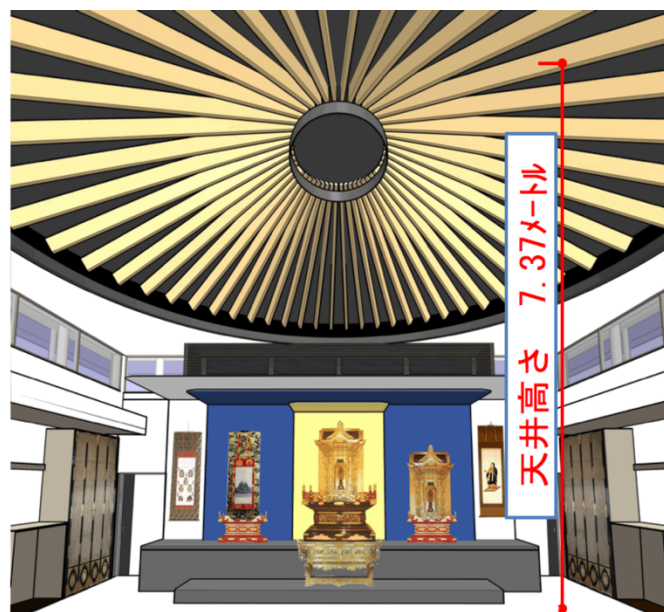
更には、ホールと待合が設置されることによって、弔問客の受付やご焼香、ご返礼にしっかりと対応可能です。

またお斎会場となるお庫裡では、最大六十名様が揃って、テーブルと椅子にてご着席頂けます。ところで、二十年前ご葬儀は、100%ご自宅でした。

近年セレモニーセンターをご利用される方が増え、また家族葬用の



会場も増えていますが、仮にセレモニーホールと西敬寺にて葬儀を行う場合を比較した時、その差額は、西敬寺での場合、祭壇使用料・会場費（葬儀会場・お斎会場別料金）・手数料（お料理・お飲み物・引き物・お花の手配等）が不要な為、少なく見積もっても約五十万円の差額が生じます。今回、ご協力頂くことが、必ずや皆様に還元されることをお約束致します。



全体は白を基調とした内装用の漆喰壁を利用し、無機質でなく素材感のある材料を選定しております。

新本堂では、今まで以上に
快適・便利にご法要が営めます
費用のご負担を抑え
尚且つ荘厳な儀式をお約束します



西敬寺庫裡をお齋にてご利用のご一例

工事期間中は、庫裡の御内仏を仮本堂とさせて頂きまします。椅子・テーブルをご用意して25名程度のご法要・お齋は今まで通り対応致します。

この機会にあらためて門信徒の皆様にご参考にして頂きたく、下記にお齋のご手配に関する資料をまとめましたのでご覧下さいませ。

工事期間中の仮本堂とご法要利用に関して

西敬寺指定の「国際21」・「犀北館」・「さがみ典礼」・「万佳亭」よりご選択頂き、ケータリングサービスにてご用意致します。

①お弁当コース 1,500円～4,000円（税別）

このコースは、準備片付けのみスタッフがを行い、お齋中のお飲み物のご提供や椀物・汁物等のご提供はセルフサービスになります。

ご家族やごく限られたお身内だけのご法要にお勧めしております。



1,500円（税別）



3,500円（税別）

②懐石コース 4,500円～上限設定は自由（税別）

このコースは基本的に5名様に1名のスタッフが付きお料理を順番にお運びしお世話致します。

大勢のお客様でもご安心です。

*写真は「国際21」の各コースのお料理のイメージとなります。



5,000円（税別）



7,500円（税別）

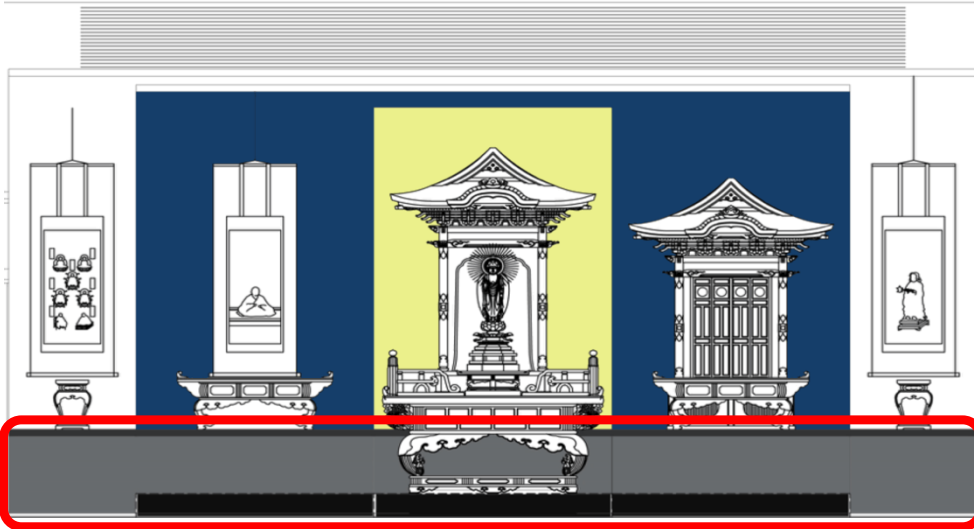
③お飲み物に関して

・ビール（中瓶）300円・ノンアルコールビール（小瓶）200円・冷酒（300ml）450円
 ・熱燗（1合半）300円・オレンジジュース（200ml）100円・ウーロン茶（500ml）100円
 にて、ご利用頂けます。（セレモニーホールやホテル・料亭と比較して半額以下、ほぼ定価にてのご提供になります。また、上記に掲載の無いお飲み物に関してはお持ち込み下さいませ。（勿論、持ち込み料は頂きません。）

ご利用頂いた方々から、落ち着いた雰囲気でご満足だったとお喜び頂いております。また、ご自宅～西敬寺までのマイクロバスでの送迎も可能です。

ご法要のご予定がお有りになりましたら是非、お問い合わせ下さいませ。

「須弥壇納骨」とご遺骨の「特別預かり」に関して



生活基盤・家族形態の大きな変化に伴い、「家」単位のお墓の継承がたいへん難しくなっております。

最近「墓じまい」というお話をお聴きすることが増えました。これは墓所や墓石を撤去・処分することで廃墓とも言われます。撤去と言っても「ご遺骨」は残る訳です・・・

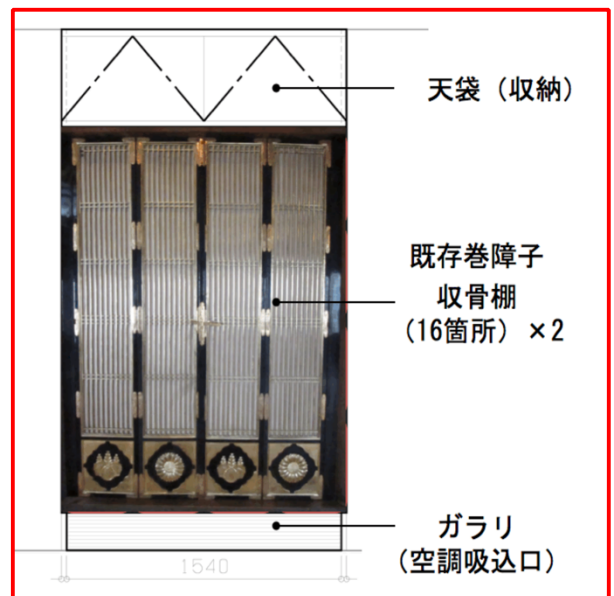
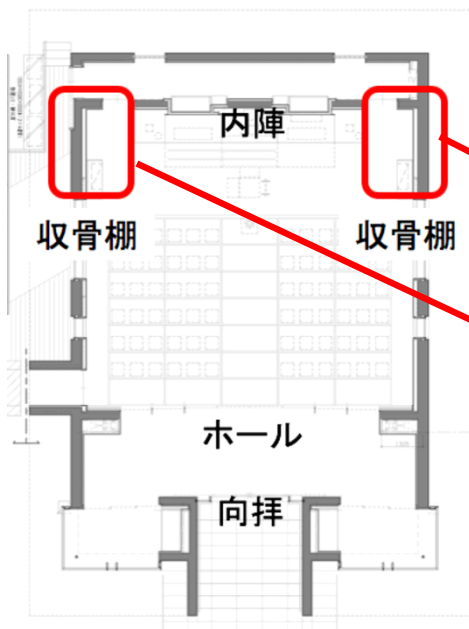
西敬寺では新たなご供養のあり方として「須弥壇納骨」をご提案してまいります。

上図は新本堂のお内陣となりますが、赤枠の須弥壇内部に「ご遺骨」をお納め致します。その際は、専用のお骨壺をご用意しお一人様ずつご法名を記してお預かりします。

また、下図の如くお骨の「特別預かり」専用の収骨棚を設けます。

「特別預かり」とは、将来的に西敬寺の「須弥壇納骨」もしくは、お墓を建立したいが、時期尚早であるとお考えだったり、生活拠点が移る可能性があり、その際は「ご遺骨」のご返還をご検討される場合となります。

新本堂は、不燃性・耐震性を兼ね備えてあり、末永くお守り致しますのでご安心です。



会場

西敬寺本堂

本堂正面に受付をご用意致しますのでご入堂下さい。
*椅子席になります。

服装&お持ち物

服装は、普段着（カジュアル）にてお越しください。
*お持ちの方は、お数珠・門徒式章・勤行聖典をご持参下さい。

参加費不要

お問い合わせ

西敬寺（長野市南城336）

電話 026-243-5570

日時と次第

平成29（2017）年
8月29日（火）

第1座

- 14:00 受付開始
冷たいお茶をご用意しておりますお召し上がり下さい。
- 14:30 開会
勤行聖典の貸出がございます。ご一緒にお勤めしましょう。
- 14:15 布教実演
実習生2名 一人15分間
- 14:45 ご法話
引率のご講師より
- 15:15 茶話会(感想会)
- 16:00 閉会

第2座

- 18:00 受付開始
冷たいお茶をご用意しておりますお召し上がり下さい。
- 18:30 開会
勤行聖典の貸出がございます。ご一緒にお勤めしましょう。
- 18:45 布教実演
実習生2名 一人15分間
- 19:15 ご法話
引率のご講師より
- 19:45 茶話会(感想会)
- 20:00 閉会

第1座・第2座どちらでもご参加下さい。両方にご参加頂くのも大歓迎です。

西敬寺

布教実演法座

さい
い
き
よう
じ

本願寺派伝道院にて学ばれている方々が、西敬寺にお越しになります。

やがて全国各地で活躍される布教使となられます。しかし、どんなに活躍している布教使も人生で初めてとなるご法座があります。

私（住職）にも忘れられない初めてのご法座がありました・・・。

緊張で喉はカラカラ、足はガクガク、手はブルブル。そんな私を温かい眼差しと優しい領きを以ってお育て下さった方々のことが忘れられません。

どうか、ご縁ある皆様、お越し下さる実習生にとって、忘れられない「初めての方」になって頂けませんか？

ご法話を「初めて聞く」ご縁となられる方も大歓迎です！

受付や茶話会のお手伝いをして頂ける方も募集させていただきます。宜しく願いいたします。

編集後記

私を僧侶として布教使として
お育て下さった 高山村 明德寺
ご住職 麻山智晃様が五月にご往
生されました。

十三年前に布教使の資格を頂く
為に布教使補という学びの入り口
に立たせて頂いた時に宗報(本願寺
教団の機関誌)に小さく私の名前が
掲載されました。

その日、麻山様より

「おめでとうございます。

実は、あなたのお父様にたいへん

お世話になった一人です。

お父様には、毎年、報恩講、永代

経、仏教婦人会のご法座にお越し

頂いております。

お父様にご往生されてから何年

経たれるでしょう・・・

門信徒一同、木賣さんのご子息

が、いつの日か布教に出られるこ

とを待っていたんですよ。

どうか、今年の報恩講にご出講下

さい。」と・・・

たいへん驚き、戸惑い、しかし嬉
しさの中で、

「有難いお話ですが、まだ布教使に
任用された訳では無く、研修や試
験を受ける資格を頂いただけで
す・・・

とても私に務まるはずがありま
せん。任用されましたらご報告さ
せて頂きますのでその節は是非、
宜しくお願い致します。」

と、お応えしました。

すると麻山様は、

「大丈夫、大丈夫。

あなたが、お父様にお聞きになら

れていたであろうお話をそのま

ま聞かせて下さればいいのです

よ。あなたのお父様の思い出話だ

っていい。兎に角、待ちに待った

のです。

『お父様と待ち合わせ』して

いると思ってお出かけ下さい。」

と・・・

それ以来、幾度となくご縁を頂き
ました。有難いことに、ご法要にご
出勤されるご法中やご門徒様を

ご紹介頂き、次から次へとお取り
次ぎのご縁を結んで下さいまし
た。

麻山様が、あの時『お父様と待
ち合わせ』をしているつもりでと、
お誘い下さらなかつたら・・・

今、私が頂いているご縁の多くは
無かつたと思います・・・

あの時、父の姿は見当たりませ
んでしたが、皆様のお念仏の中に
父が待っていてくれたことを聞か
せて頂きました。

今、私には温かく優しい麻山様
が「木賣さんお浄土で、お父様と
一緒に待っているからね」と
『南無阿弥陀仏』となって呼び続
けて下さるように思います。

前頁にてご案内させて頂いてお
ります。布教実演講座は、麻山様
から頂いたご恩に報いる一つと考
えております。多くの皆様のご参
拝ご聴聞をお待ちしております。

合掌

住職 釋 慈教 拝